

# 壊れゆく 公務 2

～公務をとりまくあやしい仕組みに未来はあるか。  
その場しのぎが織りなす公務消滅のシナリオ～

圧倒的な人員不足や財源不足を補うため、また、すでに矛盾が生じている責任を回避・転嫁するために、その場しのぎで運用される「現実離れした制度」が、目的を逸脱し、結局は行政サービスを低下させていく実状を公務の労働組合が明かす。

行政サービスはこの先どのような顛末を迎えるのか、ゆがんだ制度はなぜ生まれ、続くのかを検証し、あるべき行政を考える。

## 基調講演： 「小さな政府は誰のためか」

講師：

北海学園大学  
法科大学院講師

森 啓さん



○自治体学を専門とし、その理論化・実践の啓発に尽力され、地方自治体学土曜講座等、精力的に活動されている。  
近著に、「自治体学とはどのような学か」（公人の友社、2014年）。

# 7月18日(水)

## 18:30～20:30

エルプラザ 3F ホール =入場無料=  
(札幌市北区北8条西3丁目)

—公務・公共職場からの証言—  
「経費節減や人員不足を覆い隠す未来なき制度」

—公務の見える化パネルトーク—  
「いまこそ増やしたい！イチオシ専門官の実態」

—あるべき公務を対談する—  
「公務はどこで歪む？行政とはだれが主体者か」